



集まる=つながる！



7月7日に生郷地区支えあい推進会議が『つどいの場をつくるということ』をテーマに講演会を実施されました。集まることでつながりができ、気かけ合う関係や見守り合う関係のきっかけづくり、お話しをすることで困りごとや悩みを相談できる場所にもなるかもしれません。

このように支えあい推進会議では、多様な立場の方が集まり話し合いや学びの機会として講演会などを実施しながら安心して暮らせる地域を目指して取り組まれています。

今回の講演会が、様々なつながりができるきっかけとなると良いですね♪

氷上地域では、中央、葛野、沼貫、幸世地区でも支えあい推進会議を実施されています。

第1弾

ボランティア協会氷上支部所属の

ボランティアグループさん紹介！

施設・サロン・敬老会などでレクリエーションしていただけます♪



【ボランティアグループ新世紀】

活動内容: 社交ダンスを通じて交流を行っています！

活動頻度: 月2~3回、出演依頼によって日程が変わります。

やりがい: 施設等へ訪問し、ダンスを見て頂き、そして一緒に踊ることで、明るい気持ちになって喜んでもらえるのが嬉しいです♪

メッセージ: ご依頼頂きましたら、約1時間でワルツやタンゴなど様々なダンスを披露し、皆さんと踊ります！その他にも炭坑節を輪になって踊ったり、替え歌などを一緒に歌い楽しい時間をお届けします🌟出演依頼をお待ちしています(^^)仲間も募集中です！

【へたの会】

活動内容: おひとり暮らしの高齢者へ年4回絵手紙を届けています！

活動頻度: 年間14回、基本第1月曜日に幸世交流施設で活動しています。

やりがい: 毎回楽しくワイワイお喋りしながら元気に活動しています。作成した絵手紙を送った方から、お礼のお返事をいただくこともあり、そこでお互いの元気を確かめ合いながら交流できることが嬉しです♪

メッセージ: 絵手紙に興味のある方は是非、一緒に活動しましょう😊



★「活動に参加したい!」「うちの施設・サロンにも来てもらいたい!」そんな方は気軽に

社協西部支所 82-4613 へお問い合わせください★



障がい者部会で福祉体験！



氷上民生委員・児童委員協議会障がい者部会で車いすとアイマスクの体験をされました。大人の福祉体験では、特に信頼関係が重要になってきます。車いすに乗る、アイマスクをして歩くなどは、いかに介助やサポートの方を信頼できるかで、時間や方法がずいぶん変わってきます。自分でなんでもできる大人にとっては、人に身体を委ねることが大変難しいです。民生委員児童委員の皆さんは、身構えることなく、スムーズに体験をされました。普段からお互いを思いやる関係ができていないかではないでしょうか。



車いすは介助者が力を合わせて
アイマスクは介助者を信頼して



民生委員児童委員

つながりの場、にこにこキッチン！

中央地区の民生委員児童委員のみなさんが、ひかみ成松交流館で行われている子ども食堂「にこにこキッチン」を訪問し、子どもたちと一緒に食事をされました。にこにこキッチンにたくさん子どもや高齢の方、家族連れが食事を楽しんでいると聞かれましたが、なかなか行く機会がなく、清水民生委員の呼びかけでみなさんで参加されました。メニューはチキンカツとサラダ、スープにご飯。かわいい折り紙のメッセージ付き。「こんなご馳走、家ではなかなか作れないわ」「ボリューム満点でお腹いっぱいになりました」とそれぞれに感想を言われ、「子どもの貧困やヤングケアラーなど子どもに関わる問題もたくさんあるけど、こんないい場所があるのならいろんな人に知らせたい！」と話されていました。



子どもたちから食事のお礼をボランティアさんに♡

想いのこもった1日に

6月24日に葛野地区の長野自治会でふれあい・いきいきサロン『長野なかよしサロン』がスタートしました！

当日は、歌やけん玉、お手玉などの昔遊びや、参加者の方に「元気の秘訣は？」など質問をしながら参加者同士の交流を図られていました。工夫を凝らしたレクリエーションの数々に参加者の皆さんに楽しんでもらいたいというボランティアの方々の想いがとても感じられ、この場所が長野の皆さんにとって大切な場所のひとつになるのだと感じました。

丹波市社協では、このようなつどいの場づくりのお手伝いをさせていただきます。何かやってみたい！でもどうすればいいのかわからないなど、お悩みの方は、お気軽にご相談下さい！



お問い合わせ

丹波市社会福祉協議会西部支所 Tel 82-4613 Fax 82-4755